

仕 様 書

1 業務名称

「蓄電池、水素・燃料電池国際カンファレンス in 大阪」運営業務

2 目 的

大阪では、咲洲地区（大阪市住之江区）での NLAB（大型蓄電池システム試験・評価施設）の整備をはじめ、関西国際空港水素グリッドプロジェクト、水素ステーション整備、スマートコミュニティ等の取り組みが進められています。

大阪におけるこうした取り組みを国内、世界に向けて発信するとともに、国内外のキーパーソンによる講演を通じ、最新の技術動向・市場動向等を企業の経営層や技術開発責任者に認識してもらうため、平成28年秋に「蓄電池、水素・燃料電池分野国際カンファレンス in 大阪」（以下「カンファレンス」という。）を開催します（別紙1参照）。

本カンファレンスの開催を契機に、参加企業等に対するプロモーション活動を強化し、大阪での新たなビジネス展開や企業等の立地、オフィス開設などを促進することで電池関連産業の振興を図ります。

3 事業概要

大阪府ではカンファレンスの開催にあたり、平成27年6月に関連企業や学識経験者で構成するプロモーション企画委員会を設置し、カンファレンスのコンセプトや全体構成、基調講演等の講演者、エクスカーションツアー先の選定を行い、別紙2「『蓄電池、水素・燃料電池国際カンファレンス』プログラム（素案）」（以下「プログラム（素案）」という。）を取りまとめました。

平成28年度はカンファレンスの開催にあたり、各講師とコンセプトに沿った講演内容の調整や、国内外からの参加者（企業幹部や技術責任者クラスを想定）の募集、集客の確保を図るとともに、質の高いカンファレンスとして参加者の満足度向上につなげる必要があります。

このような特性から、カンファレンスの運営にあたっては同種の国際会議の豊富な運営実績や、蓄電池、水素・燃料電池分野に関する専門的な知識が必要となることから、民間事業者のノウハウ等を活用した、より効果的かつ効率的な企画提案を公募により募集いたします。

4 業務内容（別紙プログラム素案参照）

(1) 海外から招聘する講師との講演内容の調整

「プログラム（素案）」のコンセプト等に沿った講演内容となるよう、海外講師との調整を行う。

(2) 海外から招聘する講師の航空券、宿泊先の手配、日当、謝金の支払等

海外講師の招聘に伴い、来阪日程の調整や航空券の手配、宿泊先（リーガロイヤルホテル）の確保、日当、謝金の支払、空港等から宿泊先までのアテンドを行う。

(3) プログラム冊子の作成、講演資料の印刷、報告書の作成（翻訳含む）※部数は予定

a プログラム冊子（5月頃）

A3 カラー二つ折りコート紙 90Kg 1,200 部（日英混合表記）

b 全講師の講演資料（8 月頃）

基調講演 A4 カラー両面中とじ 15 頁 上質紙中厚 350 部（日英混合表記）

3 分科会 A4 カラー両面中とじ 60 頁 上質紙中厚 700 部（日英混合表記）

クロージング・総括講演 A4 カラー両面中とじ 60 頁 上質紙中厚
350 部（日英混合表記）

c 報告書（講演内容等）の印刷（9 月中）

A4 カラー両面中とじ 25 頁 コート紙 90kg 100 部（日英混合表記）

(4) ネットワークミーティングの開催に関する業務

ネットワークミーティングの参加者募集、逐次通訳の手配、会場レイアウトの企画。

なお、飲食を伴い、別途参加費を徴収する場合は受託事業者の責任において実施すること（9 月 6 日夕刻、定員 150 名程度）。

(5) プロモーションミーティングの開催に関する業務

カンファレンス開催前夜（9 月 5 日）に、知事をトップとする府関係者及び国内外講師とのプロモーションミーティングの準備、逐次通訳の手配（25 人程度、8,000 円/人程度）。

(6) 司会、同時通訳、逐次通訳の手配

・司会の手配

カンファレンスでの基調講演（9 月 6 日・午前）、ネットワークミーティング（9 月 6 日・夕刻）及びクロージング・総括講演（9 月 8 日・午前）。

・同時通訳

カンファレンスでの基調講演（9 月 6 日・午前）、分科会（9 月 6 日・午後）及びクロージング・総括講演（9 月 8 日・午前）。

・逐次通訳

プロモーションミーティング（9 月 5 日）、ネットワークミーティング（9 月 6 日）、エクスカーションツアー（9 月 7 日）

※エクスカーションツアーはバス 2 台（定員 100 名程度）を予定、このうち 1 台のバス（外国人を集約）に逐次通訳者が同乗。

(7) 参加者の募集に関する業務（7 月頃）

・カンファレンスの参加者募集、集客を確保するための告知活動を行う。

・海外からのカンファレンス参加者の申込み受付（国内参加者は府が対応）。

・ネットワークミーティング参加者（国内及び海外）の申込み受付。

(8) エクスカーションツアーの運営に関する業務

エクスカーションツアーの参加者募集（7 月頃）。

「プログラム（素案）」に記載されたエクスカーションツアー先を巡るためのバスの手配、参加者の保険加入業務を行う。昼食は参加者各自で対応。

(9) カンファレンスの運営

・基調講演、分科会、ネットワークミーティング及びクロージング・総括講演の進行シナリオの作成など、当日の円滑な運営。

・前日（9 月 5 日）に講演者を交えたりハーサル、打合せ。

・参加者の受付、誘導の補助 など。

(10) その他上記業務に必要な業務

5 企画提案を求める内容

(1) 事業目的達成のための基本的な考え方及び、カンファレンス運営に要する費用の積算、運営体制について

- ① 提案事業に関する現状の認識や事業実施についての基本的な考え方について、記載してください。
- ② カンファレンス運営費の積算や経費抑制の工夫、及び円滑な事業実施に向けた運営体制（事業責任者等の体制図）に対する考え方について記載してください。

(2) カンファレンスの参加者確保（海外含む）方策について

- ① カンファレンスの参加者確保（海外含む）に向けた具体的な告知の方策について記載してください。

告知先としては蓄電池、水素・燃料電池関連の企業、団体等を想定しており、提案事業者との関わりやネットワークの広がりなどの強みを提案してください（例えば、提案事業者の顧客先リストやメールマガジンの発行先など）。

- ② 参加者の募集方法について提案してください。

(3) 参加者の満足度向上に資するプログラム進行について

- ① 「プログラム（素案）」に基づき、カンファレンスの3日間を通してのストーリー展開及び、分科会におけるストーリー展開を提案してください。

(ア) 3日間を通してのストーリー展開

「プログラム（素案）」に基づき、カンファレンスの目的の達成と、参加者の満足度向上につながるよう、1日目の基調講演から3日目の総括講演に至るストーリー展開を提案してください。

また、講演者に求める講演内容について、「プログラム（素案）」の仮題を踏まえ、アイデアがあれば併せて提案してください。

(イ) 分科会（1日目）のストーリー展開

「蓄電池」「水素・燃料電池」及び「スマートコミュニティ」の3分科会において各3名の講師による講演（各30分程度）を行うことにしていますが、座長の総括コメントに至るストーリー展開を提案してください。

- ② エクスカーションツアーが混乱することなく円滑に実施できるための方策や工夫すべき点について提案してください（各視察先の視察時間は概ね1時間程度を予定）。
- ③ ネットワークミーティングで大阪のプレゼンスが向上するような仕掛けづくりを提案してください（例えば、中小企業等のポスターセッションなど）。
- ④ 府として、カンファレンス終了後も参加した企業等とのネットワークを構築し、大阪でのビジネス展開や立地等につなげていきたいと考えていますが、どのような点に留意してネットワークを広げていくべきか提案してください。

(4) 提案事業者の有するノウハウ、強みについて

- ① 類似の国際会議等の経験、運営実績（過去3年）について、別紙4に記載してください（パンフレット等があれば添付）。
- ② 新エネルギー分野に関する専門知識に精通したスタッフの有無（略歴・資格等）など、本事業の受託に際しての強みについて記載してください。

【留意事項】

- ・ 提案にあたっては、「プログラム（素案）」に沿った内容とすること。

- ・海外から招聘する講師の航空賃、宿泊料、日当は府の「職員の旅費に関する条例」に準じ支払うこと。また、謝金は府の規程に準じ支払うこと。
また、海外から招聘する講師は、原則、カンファレンスの前日から最終日（平成28年9月5日～8日）まで滞在することを前提とする。
- ・カンファレンスの会場及び資機材※は府が用意する。
※マイク、プロジェクター、同時通訳設備、同時通訳用レシーバー、レーザーポインター、演題、移動型ステージ、司会者台、受付机、手元灯、スクリーン等
- ・事業の実施にあたっては、大阪府と必要な連携を図ること。
- ・あらかじめ大阪府と調整したスケジュールで業務を行うこと。
- ・業務の遂行にあたっては責任者を定めること。
- ・プロモーション企画委員会（2回を予定）に出席すること。
- ・納品が必要なものについて、納品日および納品形式は別途協議し、納品場所は大阪府の指定する場所とする。
- ・プログラム冊子、報告書の著作権や使用権等の諸権利は大阪府に帰属する。
- ・プログラム冊子、報告書は紙媒体に加え、電子媒体でも提出すること。
電子媒体：Word形式及びPDF形式、CD-ROM等2枚
- ・この仕様書に定めのない事項については、大阪府と協議のうえ決定する。

6 再委託

再委託は原則禁止する。ただし、印刷物の作成等、専門性等から一部を受託事業者において実施することが困難な場合や、自ら実施するより高い効果が期待される場合は、再委託により実施することができる。再委託により実施する場合は、下表に基づき、大阪府と協議し、承認を得てください。

1 再委託の承認

- (1) 次のいずれにも該当しない場合に限り、やむを得ないと認める部分について、再委託を承認することとする。
- ア 業務の主要な部分を再委託すること。
 - イ 契約金額の相当部分を再委託すること。
 - ウ 競争入札における他の入札参加者に再委託すること。
 - エ 随意契約によることとした理由と不整合を生じる再委託をすること。

2 承認する場合に付する条件

- (1) 受託事業者は、業務の一部を再委託する場合は、再委託先の名称、再委託する理由、再委託して処理する内容、再委託する期間、再委託に要する費用、委託先において取り扱う情報、再委託先における安全性及び信頼性を確保する対策並びに再委託先に対する管理及び監督の方法を明確にしなければならない。
- (2) (1)の場合、受託事業者は、再委託先に本契約に基づく一切の義務を順守させるとともに、大阪府に対して、再委託先の全ての行為及びその結果について責任を負うものとする。なお、委託内容・指導内容を具体的に明記した委託契約書、完了報告書等を整備するとともに、発注者の求めに応じて提出しなければならない。

- (3) 受託事業者は、再委託先に対して本委託業務の一部を委託した場合は、その履行状況を管理・監督するとともに、大阪府の求めに応じて、管理・監督の状況を報告しなければならない。
- (4) 受託事業者は、再委託先に対して、本委託業務の主旨及び大阪府の委託事業であることを説明し、本委託事業の関係書類等を本事業終了後、翌年度4月1日から起算して5年間保存するとともに、大阪府からの求めに応じて、受託事業者が実施する調査への協力について承諾させることとする。なお、再委託先の承諾が得られない場合は再委託をしてはならない。
- (5) 再委託先の選定については、経済性の観点から、可能な範囲において相見積りを取り、相見積りの中で最低価格を提示した者を選定（一般の競争等）しなければならない。なお、経済性の観点によらず内容の優劣により選定する等、相見積りを取っていない場合又は最低価格を提示した者を選定していない場合には、その選定理由を明らかにした選定理由書を大阪府に提出し協議しなければならない。
- (6) 受託事業者は、委任した事務、事業が終了したかどうかを完了報告書により確認しなければならない。なお、完了報告書には、検収日を記載し、検収担当者が押印するものとする。
- (7) 再委託先への支払いは受注事業者の名義で行うとともに、銀行振込受領書等により支払の事実（支払の相手方、支払日、支払額等）を明確にしなければならない。

7 その他

- (1) 応募いただいた内容については、補足説明等をお願いすることがあります。
- (2) 企画提案及び契約の手続きにおいて用いる言語及び通貨は、日本語及び日本国の通貨によるものとします。

「蓄電池、水素・燃料電池国際カンファレンス in 大阪」の概要

- ・名称 蓄電池、水素・燃料電池国際カンファレンス in 大阪
- ・日程 平成28年9月6日(火)～8日(木)
- ・会場 大阪国際会議場(グランキューブ大阪)
- ・主催 大阪府
- ・定員 300名程度
- ・参加費 10,000円(ネットワークミーティング参加費用は含まない)

1日目 (9/6)	午前	<ul style="list-style-type: none"> ■オープニング挨拶 知事/府の取組み バッテリー戦略研究センター長 ■基調講演(「蓄電池」「水素・燃料電池」の各分野から1名ずつ講演) <p style="text-align: center; margin: 0;">〈会場:12階特別会議場(定員300名程度)〉</p>
	午後	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ■蓄電池分科会(講師3名) <p style="text-align: center; margin: 0;">〈会場:10階1008(定員150名程度)〉</p> </div> <div style="width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ■水素・燃料電池分科会(講師3名) <p style="text-align: center; margin: 0;">〈会場:10階1009(定員150名程度)〉</p> </div> </div> <p style="text-align: center; margin: 5px 0 0 0;">コーヒープレーク(名刺交換)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■スマートコミュニティ分科会(講師3名) <p style="text-align: center; margin: 0;">〈会場:10階1004～1007(定員300名程度)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ネットワークミーティング (ポスターセッション、マッチング等に向けての情報交換) <p style="text-align: center; margin: 0;">〈会場:12階多目的広間(ホワイエ)(定員150名程度)〉</p>
2日目 (9/7)	終日	<ul style="list-style-type: none"> ■エクスカージョンツアー <NLAB(大型蓄電池試験・評価施設)・関空水素グリッドプロジェクト・あべのハルカス>(定員100名程度)
3日目 (9/8)	午前	<ul style="list-style-type: none"> ■クロージング記念講演(講師2名) ■総括講演 <p style="text-align: center; margin: 0;">〈会場:12階特別会議場(定員300名程度)〉</p>

注) 前日(9月5日)は府関係者(知事等)と講演者とのプロモーションミーティングを開催

○ターゲット(客層:商品開発、技術開発、企画部門の幹部クラスや技術責任者)

・蓄電池、水素・燃料電池ユーザー(ハウスメーカー、デベロッパー、PPSなど)

・関連部材・部品メーカー(中堅・中小企業など)

・蓄電池システムメーカー、水素供給事業者、燃料電池システムメーカー、認証機関など

○会場(大阪国際会議場)の詳細は下記ホームページを参照

<http://www.gco.co.jp/>

「蓄電池、水素・燃料電池国際カンファレンス in 大阪」プログラム(素案)

平成 28 年(2016 年)9 月 5 日(月)									
タ 刻	<p>・府(知事等)及び講演者とのプロモーションミーティング <会場:リーガロイヤルホテル大阪></p>								
平成 28 年(2016 年)9 月 6 日(火)									
10:00~10:30	<p>・オープニング挨拶(大阪府知事) ・電池関連産業の振興に向けた大阪府の取組(大阪府商工労働部バッテリー戦略研究センター長)</p>								
	<p>基調講演 コンセプト:蓄電池、水素・燃料電池の先端の技術動向や、最新の市場動向など、将来性豊かなビジネス展開の可能性を発信。</p>								
10:30~11:15	<p>講演① 米国エネルギー省(DOE)エネルギー効率・再生可能エネルギー局 「米国における水素・燃料電池技術開発と実証の現状」(仮題)</p>								
11:15~12:00	<p>講演② アルゴンヌ国立研究所 「蓄電池開発の世界的動向」(仮題)</p>								
12:00~13:30	昼 食								
	<p>分科会 コンセプト:基調講演を踏まえ、インパクトを有する取組み事例、技術課題や対応策を紹介。大阪への期待感も交えつつ、イノベーションの創造を喚起。</p>								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>蓄電池分科会</th> <th>水素・燃料電池分科会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>13:30~14:00 講演① サンディア国立研究所 「大型蓄電池を用いたエネルギーシステムとその使用に際しての安全性」(仮題)</p> </td> <td> <p>13:30~14:00 講演① ドイツ・フラウンホーファー研究機構 「欧州における水素・燃料電池の取組み」(仮題)</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>14:00~14:30 講演② ドイツ・TUV ZUD 社 「世界市場における認証の重要性と大阪への期待」(仮題)</p> </td> <td> <p>14:00~14:30 講演② ノルウェー産業科学技術研究所 「世界における水素のエネルギーキャリアとしての可能性」(仮題)</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>14:30~15:00 講演③ (株)GSユアサ 「蓄電池及び蓄電システム産業の技術動向と大阪への期待」(仮題)</p> </td> <td> <p>14:30~15:00 講演③ 岩谷産業(株) 「大阪・関西における水素関連技術への取組み」(仮題)</p> </td> </tr> </tbody> </table>	蓄電池分科会	水素・燃料電池分科会	<p>13:30~14:00 講演① サンディア国立研究所 「大型蓄電池を用いたエネルギーシステムとその使用に際しての安全性」(仮題)</p>	<p>13:30~14:00 講演① ドイツ・フラウンホーファー研究機構 「欧州における水素・燃料電池の取組み」(仮題)</p>	<p>14:00~14:30 講演② ドイツ・TUV ZUD 社 「世界市場における認証の重要性と大阪への期待」(仮題)</p>	<p>14:00~14:30 講演② ノルウェー産業科学技術研究所 「世界における水素のエネルギーキャリアとしての可能性」(仮題)</p>	<p>14:30~15:00 講演③ (株)GSユアサ 「蓄電池及び蓄電システム産業の技術動向と大阪への期待」(仮題)</p>	<p>14:30~15:00 講演③ 岩谷産業(株) 「大阪・関西における水素関連技術への取組み」(仮題)</p>
蓄電池分科会	水素・燃料電池分科会								
<p>13:30~14:00 講演① サンディア国立研究所 「大型蓄電池を用いたエネルギーシステムとその使用に際しての安全性」(仮題)</p>	<p>13:30~14:00 講演① ドイツ・フラウンホーファー研究機構 「欧州における水素・燃料電池の取組み」(仮題)</p>								
<p>14:00~14:30 講演② ドイツ・TUV ZUD 社 「世界市場における認証の重要性と大阪への期待」(仮題)</p>	<p>14:00~14:30 講演② ノルウェー産業科学技術研究所 「世界における水素のエネルギーキャリアとしての可能性」(仮題)</p>								
<p>14:30~15:00 講演③ (株)GSユアサ 「蓄電池及び蓄電システム産業の技術動向と大阪への期待」(仮題)</p>	<p>14:30~15:00 講演③ 岩谷産業(株) 「大阪・関西における水素関連技術への取組み」(仮題)</p>								
15:00~15:15	<p>座長総括コメント: 京都大学大学院</p>								
15:15~15:45	<p>座長総括コメント: 京都大学大学院</p>								
15:15~15:45	コービーブレイク								

	スマートコミュニティ分科会
15:45～16:15	講演① 米国・SMUD社 「SMUDにおけるスマートグリッドの取組み」(仮題)
16:15～16:45	講演② フランス・グランドリオン共同体 「フランス・リオン・コンフルエンス地区の再開発プロジェクトについて」(仮題)
16:45～17:15	講演③ ㈱東芝・横浜市 「国内外におけるスマートコミュニティ実証の取組み」(仮題)
17:15～17:30	座長総括コメント： 大阪大学大学院
17:45～19:30	ネットワークミーティング (ポスターセッション、情報交換 等)

平成 28 年(2016 年)9 月 7 日(水)

終日 10:00～17:00	エクスカージョンツアー コンセプト：世界へ大阪・日本の技術力、プレゼンスを発信することにより、ビジネスを呼び込む。 訪問先：①大型蓄電池試験評価施設 (NLAB) ②関西国際空港水素グリッドプロジェクト ③あべのハルカス (省エネ立体都市)
-------------------	---

平成 28 年(2016 年)9 月 8 日(木)

	クロージング記念講演 コンセプト：国際戦略的な視点に立った講演を通じ、今後の海外展開を後押しをするためのヒントを提供するとともに、本カンファレンス3日間を総括した講演を実施。
10:00～10:45	講演① 東京工業大学 「エネルギーシステム改革と日本企業の国際競争力強化」(仮題)
10:45～11:30	講演③ IEC (国際電気標準会議) 「バッテリー市場の獲得に向けたグローバル戦略」(仮題)
11:30～11:50	総括講演 地球環境産業技術研究機構 「世界の電池産業をリードするため大阪・関西が果たす役割」(仮題)